■ 主要科目の特徴　≪救急救命学科≫

①	科目名	実践的防災論	
	配当学年・学期	1年生／前期	
科目の特徴	救急救命士は、災害医学の知識を身につけるとともに防災のスペシャリストとしての対応が求められる。そのため、日常的に発生する交通事故や火災などの人為的災害と地震、風水害や火山噴火などの自然災害まで幅広く防災を学ぶことは必要不可欠となる。本授業は、これらの防災知識を単に机上で理解するだけでなく、演習を含めた実践的な授業を行い、防災対策に有効とされる「減災」について創造的発想につなげられる思考力を身につける。		
②	科目名	実践救急症候学	
	配当学年・学期	3年生／前期	
科目の特徴	3年後期から始まる病院内実習に備え必要な知識を復習することを目的として、下記の項目を中心に授業を行う。全ての授業終了後に試験を行ない、必要な知識の修得を完全なものにして実習中の理解を深めることができるよう努めている。 授業内容:①循環　②呼吸　③神経　④消化器　⑤救急処置総論各論　⑥外傷1 ⑦外傷2　⑧画像の見方など		
③	科目名	環境障害・急性中毒学Ⅱ	
	配当学年・学期	3年生／前期	
科目の特徴	救急救命士が遭遇することの多い熱中症や低体温症などの環境障害についての基礎知識を身に付け、応急処置の説明ができるようになることを目標として授業を設定している。また、傷病者を搬送する際に、搬送時の注意事項が説明でき、的確な医療機関の選定が判断できるようになるための工夫も行っている。 その他、気道および消化管異物、縊頸・絞頸、刺咬傷の病態生理や観察などの知識を身に付け、応急処置や医療機関の選定が判断できることを目的としている。		
④	科目名	救急・防災実習	
	配当学年・学期	1年生／前期	
科目の特徴	杏林大学医学部付属病院一・二次救急外来、高度救命救急センター及び防災施設などで見学実習を行い、walk-in 傷病者への対応や防災対策に関する理解を深めることを目的としている。また、実習後に報告・検討会を行い、単なる見学実習にとどまることなく、グループディスカッション形式の討論会を通して人前でのプレゼンテーション能力が修得できるように実習を工夫している。		